

早稲田大学 正会員 平島政治
早稲田大学 学生会員。矢島鎧司

1. 目的

断面形状の変化を考慮した薄肉閉断面を持つ梁に関する研究は従来より数多く行われているが、この断面形状の変化を取り扱う場合に殆ど研究は多角形閉断面の場合、Faltwerktheorieを基礎にしている。隔壁はこの断面形状の変化を拘束するもの、即ち断面形状を保持するための補強材として取り扱われてあり、故に断面形状の変化を考慮する事によりその薄肉断面を持つ梁に及ぼす影響をみる事が出来るが殆ど研究においてたゞ単に隔壁の位置で断面形状の変化を完全に拘束するという条件のもとで隔壁を取り扱っている。ここでは薄肉断面(閉断面)を持つ梁の基本式としてWlassowの式を用い、隔壁を剛と見なすばかりではなく弾性的に考えて影響の計算を行い実験結果と比較検討した。

2. 隔壁の影響

薄肉閉断面を持つ梁の基本式はWlassowの式^{1), 2)}を用いる。ここでは隔壁の影響を考慮する際にまず隔壁が断面寸法に比べて剛性が大きいため隔壁の位置において断面形状の変化を完全に拘束する方法が従来より行われているが隔壁の形状により弾性的に扱う事がある。以下に隔壁を二種類の弾性的に取り扱う方法について述べる。

i) Wlassowは断面形状の変化を、断面をRahmenとして取り出しそのRahmenの角に変位を与えてその時のKnotenmoment Mを計算している(Fig. 1)

$$M = \frac{12}{\frac{d_1}{EJ_1} + \frac{d_2}{EJ_2}}$$

ここで J_1, J_2 は単位力で切り出したRahmenの断面二次モーメントである。

この関係よりQuerbimomentは断面形状の変化と共にして

$$Q = \frac{12}{\frac{d_1}{EJ_1} + \frac{d_2}{EJ_2}} \gamma c$$

と表わしている。故に隔壁が厚み δ_{i1}, δ_{i2} を持つ場合に $\bar{J}_1 = \frac{\delta_{i1} t_i^3}{12}, \bar{J}_2 = \frac{\delta_{i2} t_i^3}{12}$ として

隔壁の断面形状の変化に抵抗する弾性バネ定数 $k_q = \frac{12}{\frac{d_1}{EJ_1} + \frac{d_2}{EJ_2}}$ とする事

が出来る。(Fig. 2)

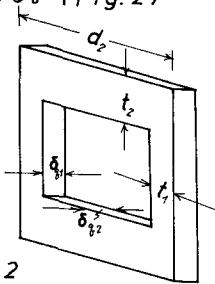
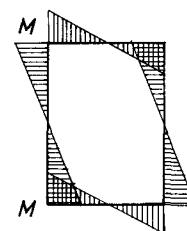
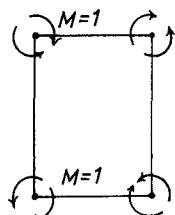


Fig. 2

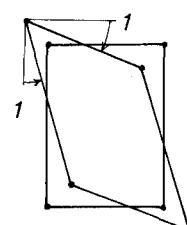
Fig. 1



a)



b)



c)

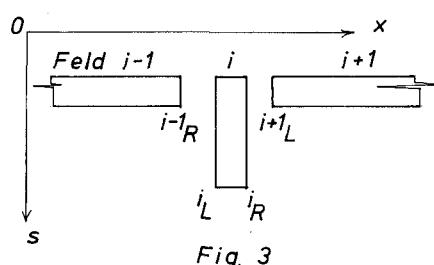


Fig. 3

iii) Field i において隔壁があると考える時、断面形状の変化は Field $i-1$, i , $i+1$ の間で

$$\kappa(i-1)_R = \kappa(i)_L, \quad \kappa(i)_R = \kappa(i+1)$$

であり隔壁の厚さがえぐく薄く、即ちX方向(軸方向)の長さが非常に短い時、又断面の寸法に比して隔壁は大きな剛性を持つため近似的に

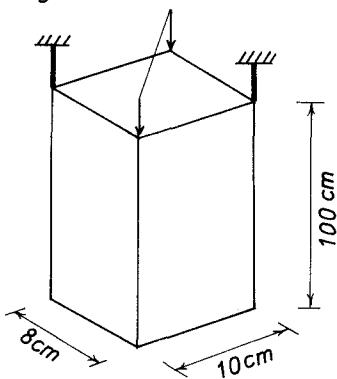
$$\kappa(i)_L = \kappa(i)_R$$

故に

$$\kappa(i-1)_R = \kappa(i+1)_L$$

とする事が出来る。この事から Field i における断面厚が隔壁の位置において増加したと考え隔壁を断面の一部とし弹性的に取り扱う事が出来る。

Fig. 4

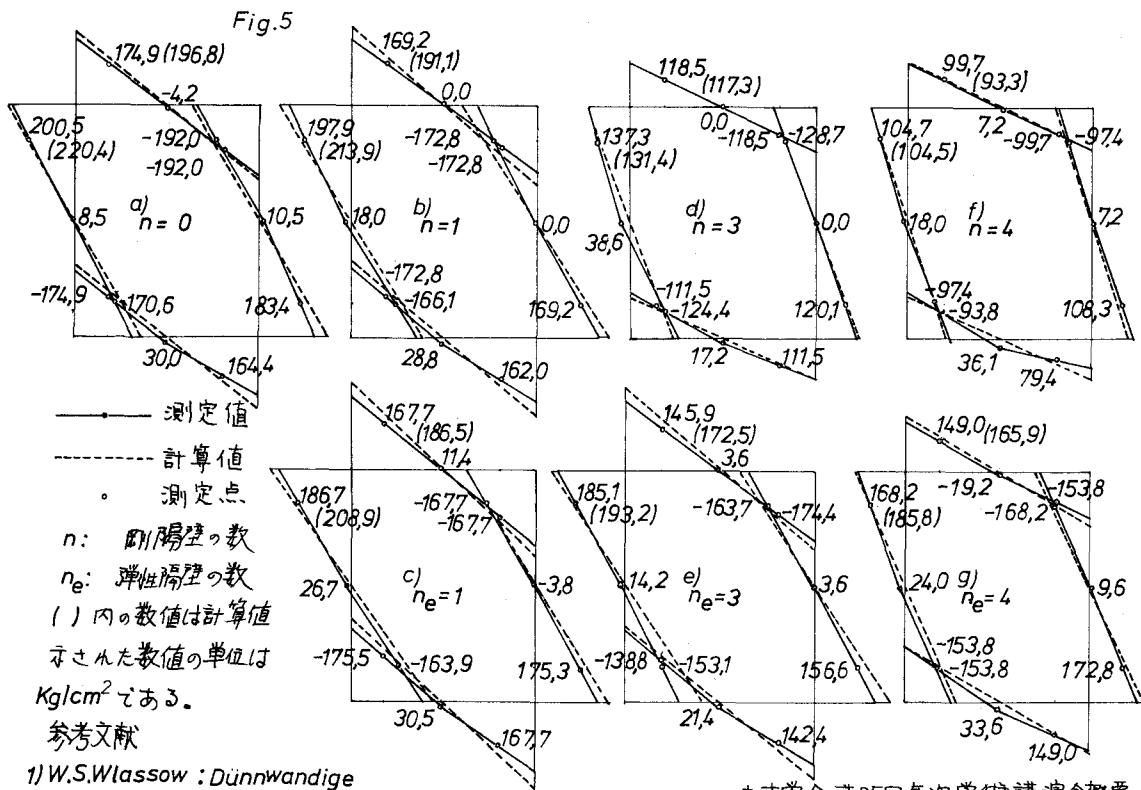


3 実験

測定1は Strain Gauge を用いて直歪を測り、たゞ例えロゼットゲージを用いたとしても直接には直歪のみしか測定出来ないので荷重としては図(Fig. 4)に示す如く Bimoment とかけた。又隔壁は剛と見なす事が出来る一枚板のものと、弹性的に作用すると考えられる口型のものと種々の数の等間隔に入れた。荷重は各測定において値が異なるため全體の比載を簡単に出来るように $B = 10000 \text{ Kg} \cdot \text{cm}^2$ で換算統一した。実験模型の桁の定数は厚さ $\delta = 0.1 \text{ cm}$, $E = 2.1 \times 10^6 \text{ Kg/cm}^2$, $\mu = 1/3$ であり、測定奥は荷重奥より 5 cm のところである。

以下に示す図は断面に分布する直応力の値である。

Fig. 5



示された数値の単位は Kg/cm^2 である。

参考文献

1) W.S.Wlassow : Dünnewandige

elastische Stäbe, VEB Verlag 1964

土木学会 第25回年次学術講演会概要
2) 平島政治, 矢島鉄司: 隔壁で補強された明断面薄肉構造物の解析